NISSAN
MOTOR CORPORATION

2026 年 11 月 11 日

日産自動車 2026 年度上期決算を発表

- 連結営業利益 800 億円、前年同期比で 1,077 億円の改善
- Re:Nissan で上半期に 1,100 億円のコスト削減を実現
- 米国と日本で販売の勢いが継続、中国は引き続き厳しい市場環境に対応
- 2026 年度通期で営業利益 2,000 億円の見通しは維持
- 2027 年 2 月に新たな事業計画を発表予定

日産自動車株式会社（本社：神奈川県横浜市西区、社長：イヴァン エスピノーサ）は 11 日、2026 年度の上期決算を発表しました。上期も引き続き厳しい市場環境でしたが、Re:Nissan の着実な進展により、収益力を改善し、事業の強靭性を向上させました。

2026 年度上期財務実績

上期のグローバル販売台数は 141 万台、連結売上高は前年同期比 4,933 億円増の 6 兆 720 億円となりました。営業利益は継続的な構造改革と Re:Nissan の取り組みを通じたコスト削減により、前年同期から 1,077 億円改善し、800 億円となりました。当期純損失は 397 億円となり、前年同期から 1,822 億円改善しました。

自動車事業のネットキャッシュは約 8,000 億円、自動車事業の現金および現金同等物は 2 兆 2,000 億円となり、引き続き高い流動性を確保しています。

中国合弁会社に持分法を適用した 2026 年度上期の財務実績は次の通りです。

（東京証券取引所届出） 中国合弁会社に持分法を適用[注2]	2025 年度 上期	2026 年度 上期	増減 （対前年）
売上高	5 兆 5,787 億円	6 兆 720 億円	4,933 億円
営業利益	-277 億円	800 億円	1,077 億円
売上高営業利益率	-0.5%	1.3%	1.8 ポイント
経常利益	-779 億円	360 億円	1,139 億円
当期純利益 [注1]	-2,219 億円	-397 億円	1,822 億円

2026 年度上期の平均為替レートは、1US ドル 159 円、及び 1 ユーロ 184 円。

2026 年度第 2 四半期 3 か月財務実績

第 2 四半期の連結売上高は、前年同期比 8.2%増の 3 兆 1,078 億円、営業利益は 21 億円となりました。営業利益は、前年同期にあった米国の排出ガス規制関連費用の減少による一時的な押し上げ効果がなくなったことなどにより、前年同期を下回りました。

当期純損失は 435 億円となり、前年同期の 1,062 億円の損失から大幅に改善しました。これは主に、事業構造改革の関連費用が減少したことによるものです。

中国合弁会社に持分法を適用した 2026 年度第 2 四半期 3 か月の財務実績は次の通りです。

（東京証券取引所届出） 中国合弁会社に持分法を適用[注2]	2025 年度 第 2 四半期 3 か月	2026 年度 第 2 四半期 3 か月	増減 （対前年）
売上高	2 兆 8,718 億円	3 兆 1,078 億円	2,360 億円
営業利益	515 億円	21 億円	-494 億円
当期純利益 [注1]	-1,062 億円	-435 億円	627 億円

2026 年度第 2 四半期 3 か月の平均為替レートは、1US ドル 159 円、及び 1 ユーロ 183 円。

2026 年度の業績見通しは維持

日産は下期の営業利益は 1,200 億円を見込んでおり、営業利益 2,000 億円、年度末の自動車事業ネットキャッシュ 1 兆円以上を含む通期見通しを維持します。

米国と日本では引き続き販売が好調に推移しており、販売見通しを上方修正しました。一方、中国では需要の低迷に加え、想定を上回るスピードでの新エネルギー車(NEV)への移行や競争の激化により、販売は当初の想定以上に大きな影響を受けています。こうした状況を踏まえ、315 万台としていた 2026 年度のグローバル販売台数の見通しは、297 万台から 300 万台になると想定しています。

下期は、販売台数の増加、新型車の投入、商品ミックスの改善が収益改善を牽引すると見込んでいます。Re:Nissan の継続的な進展と合わせ、為替や原材料コストによるマイナス影響や、上期に計上した関税に伴う一時的なプラス影響がなくなることによるマイナスを上回る効果を見込んでいます。

Re:Nissan は着実に進捗

Re:Nissan では、上期に 1,100 億円のコスト削減を実現し、営業利益の改善に貢献するとともに、日産の収益基盤の強化につなげました。

米国では、ローグ、フロンティア、パスファインダーなどの米国生産車への需要が販売増を支えたほか、価格設定の見直しや上位グレードの販売構成比が向上したことなどにより、売上の質も改善しました。日本では、新型エルグランドとキックスの好調な立ち上がりが、販売増に貢献しています。

中国では、市場環境が想定を上回るスピードで変化しています。日産はガソリン車の生産とディーラー在庫の適正化を進める一方、N シリーズを中心とした新エネルギー車(NEV)ラインアップを拡充し、輸出の拡大にも取り組んでいます。

下期は、米国のローグハイブリッド、日本のエルグランドとキックス、メキシコのフロンティアプロ PHEV、欧州の新型 EV ピクソなどの投入により、商品ラインアップをさらに強化します。さらに、日本ではスカイラインとパトロール、欧州ではジューク EV などの公開を予定しており、商品ラインアップの魅力を向上させ、日産ブランドのさらなる強化につなげていきます。

CEO のイヴァン エスピノーサは「上期の業績は、特に米国と日本を中心とする主要市場で、明るい兆しが見えてきていることを示しています。一方、中国は大きな課題に直面しており、引き続き迅速に対応していきます。Re:Nissan の取り組みにより収益力とコスト構造は改善が進んでおり、引き続き高い流動性の確保に取り組んでいきます。
下期は、メキシコでの好調な販売に加え、欧州では EV 攻勢による新たな成長機会を見込んでいます。私たちが注力すべきことは明確です。成果が出ている取り組みをさらに強化し、変化する市場環境には迅速に対応することで、事業基盤をより強固なものにしていきます」と述べました。

日産は 2027 年 2 月に新たな事業計画を発表し、次のステージに向けた会社の方向性を示す予定です。

注 1）親会社株主に帰属する当期純利益
注 2）2013 年度から中国の合弁会社 東風汽車有限公司の連結方法が変わり、持分法が適用されています。本会計基準では、連結当期純利益に変化はないものの、連結売上高と連結営業利益には東風汽車の数値は含まれなくなります。

*業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいており、リスクと不確実性を含んでいます。実際の業績は現状の業績見通しと異なる可能性があることをご承知おきください。

以上

<2026年度 第2四半期決算 参考資料>（連結①）

2026年11月11日
日産自動車株式会社

		当上期実績 27年3月期		前上期実績 26年3月期		当第2四半期実績 27年3月期		前第2四半期実績 26年3月期		当期予想 27年3月期
売上高	(注1)	60,720億円	(+8.8%)	55,787億円	(▲6.8%)	31,078億円	(+8.2%)	28,718億円	(▲3.8%)	130,000億円
	日本	21,803億円	(+8.7%)	20,063億円	(▲15.2%)	11,314億円	(+10.3%)	10,254億円	(▲13.2%)	
	北米	38,752億円	(+19.2%)	32,509億円	(▲7.2%)	19,474億円	(+16.1%)	16,773億円	(▲0.9%)	
	欧州	7,794億円	(+1.7%)	7,660億円	(▲12.7%)	4,058億円	(▲1.0%)	4,100億円	(▲9.6%)	
	アジア	6,218億円	(▲2.7%)	6,391億円	(▲17.1%)	3,397億円	(+5.4%)	3,221億円	(▲15.6%)	
	その他地域	6,219億円	(▲13.0%)	7,150億円	(+10.1%)	3,372億円	(▲10.8%)	3,781億円	(+11.4%)	
	小計	80,786億円	(+9.5%)	73,773億円	(▲9.6%)	41,615億円	(+9.1%)	38,130億円	(▲5.8%)	
	消去	▲ 20,066億円	-	▲ 17,986億円	-	▲ 10,537億円	-	▲ 9,412億円	-	
営業利益	(注1)	800億円	(-)	▲ 277億円	(-)	21億円	(▲95.9%)	515億円	(+61.3%)	2,000億円
	日本	319億円	(-)	▲ 158億円	(-)	143億円	(-)	▲ 125億円	(-)	
	北米	1,140億円	(+4456.0%)	25億円	(-)	180億円	(▲68.2%)	567億円	(+237.4%)	
	欧州	▲ 507億円	(-)	▲ 357億円	(-)	▲ 246億円	(-)	▲ 123億円	(-)	
	アジア	109億円	(▲32.3%)	161億円	(▲50.7%)	53億円	(▲28.8%)	75億円	(▲50.8%)	
	その他地域	▲ 251億円	(-)	▲ 14億円	(-)	▲ 173億円	(-)	2億円	(-)	
	小計	810億円	(-)	▲ 344億円	(-)	▲ 43億円	(-)	395億円	(+156.9%)	
	消去	▲ 10億円	-	67億円	-	65億円	-	119億円	-	
経常利益		360億円	(-)	▲ 779億円	(-)	▲ 131億円	(-)	313億円	(▲38.5%)	
親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益		▲ 397億円	(-)	▲ 2,219億円	(-)	▲ 435億円	(-)	▲ 1,062億円	(-)	200億円
1株当たり当期(四半期)純利益		▲11.36円		▲63.55円		▲12.43円		▲30.40円		5.72円
潜在株式調整後１株当たり当期(四半期)純利益		-		-		-		-		
為替レート										
	ドル／円	159円		146円		159円		147円		157円
	ユーロ／円	184円		168円		183円		172円		183円
設備投資	(注2)	2,130億円		2,321億円		993億円		1,047億円		4,800億円
減価償却費	(注2)	1,270億円		1,292億円		594億円		657億円		2,500億円
研究開発費		2,407億円		2,748億円		1,205億円		1,346億円		5,500億円
総資産		199,942億円		191,338億円		-		-		
純資産		52,524億円		51,657億円		-		-		
自己資本比率		24.1%		24.8%		-		-		
業績評価		増収増益		減収減益		増収減益 (親会社株主に帰属する当期純利益は増益)		減収減益 (営業利益は増益)		

＊（　）内は対前年同期増減率
（注1）本邦以外の地域に属する主な国又は地域は以下の通りである
（1）北米…米国、カナダ、メキシコ
（2）欧州…フランス、イギリス、スペイン、その他欧州諸国
（3）アジア…中国、タイ、インド、その他アジア諸国
（4）その他地域…大洋州、中近東、南アフリカ、メキシコを除く中南米
（注2）設備投資と減価償却費は、ファイナンスリース関連の金額を含む

＜2026年度 第2四半期決算 参考資料＞（連結②）

2026年11月11日

小売販売台数及び生産台数

日産自動車株式会社

	当上期実績 27年3月期	前上期実績 26年3月期	当第2四半期実績 27年3月期	前第2四半期実績 26年3月期	当期予想 27年3月期
グローバル販売台数（小売）					
日 本（軽を含む）	197千台 (+6.3%)	186千台 (▲16.5%)	109千台 (+10.7%)	98千台 (▲20.8%)	435千台
北 米	648千台 (+2.1%)	634千台 (+2.0%)	320千台 (+0.1%)	319千台 (+6.7%)	1,345千台
（内 米国）	469千台 (+5.5%)	445千台 (▲0.9%)	226千台 (+1.4%)	223千台 (+5.3%)	
欧 州	135千台 (▲7.9%)	147千台 (▲7.9%)	71千台 (▲1.0%)	72千台 (▲10.6%)	340千台
アジア （注1）	288千台 (▲14.4%)	337千台 (▲17.9%)	134千台 (▲28.3%)	187千台 (▲9.7%)	
（内 中国）	237千台 (▲15.0%)	279千台 (▲17.6%)	107千台 (▲32.1%)	158千台 (▲8.1%)	370 - 400千台
その他	142千台 (▲19.9%)	177千台 (▲3.2%)	75千台 (▲21.9%)	96千台 (▲2.3%)	（注2） 480千台
計	1,410千台 (▲4.7%)	1,480千台 (▲7.3%)	709千台 (▲8.3%)	773千台 (▲4.5%)	2,970 - 3,000千台
グローバル生産台数					
日 本	285千台 (+6.7%)	267千台 (▲12.9%)	147千台 (+10.2%)	133千台 (▲12.5%)	
北 米 （注3）	559千台 (▲2.8%)	575千台 (▲3.5%)	279千台 (▲5.2%)	294千台 (+1.2%)	
欧 州 （注4）	120千台 (▲6.1%)	127千台 (▲10.6%)	65千台 (▲3.5%)	67千台 (+5.5%)	
アジア （注5）	277千台 (▲21.4%)	353千台 (▲22.2%)	135千台 (▲27.2%)	186千台 (▲20.8%)	
その他 （注6）	57千台 (▲15.2%)	67千台 (+12.3%)	26千台 (▲27.7%)	36千台 (+10.4%)	
計	1,298千台 (▲6.6%)	1,389千台 (▲10.8%)	652千台 (▲9.0%)	716千台 (▲7.4%)	2,650千台

＊（ ）内は対前年同期増減率
＊グローバル販売台数(小売)及びグローバル生産台数の中国・台湾については、1－12月ベースの数字
(注1) 大洋州を含む
(注2) アジア（除、中国）を含む
(注3) 米国、メキシコの生産台数
(注4) 英国の生産台数
(注5) 台湾、タイ、中国、インドの生産台数
(注6) 南アフリカ、ブラジル、エジプトの生産台数

	当上期実績 27年3月期	前上期実績 26年3月期	当第2四半期実績 27年3月期	前第2四半期実績 26年3月期
連結売上台数				
日 本	183千台 (+1.7%)	180千台 (▲12.9%)	96千台 (+11.0%)	86千台 (▲19.9%)
海 外	958千台 (▲3.5%)	993千台 (▲6.2%)	498千台 (▲2.1%)	508千台 (▲4.5%)
計	1,141千台 (▲2.7%)	1,172千台 (▲7.3%)	593千台 (▲0.2%)	594千台 (▲7.1%)
連結生産台数				
日 本	285千台 (+6.7%)	267千台 (▲12.9%)	147千台 (+10.2%)	133千台 (▲12.5%)
在外連結子会社	745千台 (▲10.4%)	831千台 (▲7.6%)	373千台 (▲9.6%)	413千台 (▲7.1%)
計	1,030千台 (▲6.2%)	1,099千台 (▲9.0%)	520千台 (▲4.7%)	546千台 (▲8.5%)

＊連結売上台数、連結生産台数は連結財務諸表のベースとなるものである

RE:NISSAN

2026年度上期 決算報告

2026年11月11日



Re:Nissan の進捗



2026年度上期：主要市場で販売拡大
厳しい中国市場

RE:NISSAN

主要市場での成長



米国

小売販売が伸長し、
シェアが拡大



日本

新型車と上級グレードが
好調

**新型車の投入と小売に集中する販売戦略
の実行により勢いを創出**

中国

- 全需の低迷と当初想定を上回る
  スピードでの新エネルギー車(NEV)
  シフト
- 競争激化による販売減

**戦略の方向性は維持し
変化に迅速に対応しながら実行を加速**

米国：堅調な小売販売と事業の質の改善

RE:NISSAN

469k
上期累計

+5.5%
前年同期比



戦略の加速

- 「米国生産・米国販売」と小売販売重視の戦略が奏功

商品の勢い

- 販売台数(前年同期比)：ローグ+31%、フロンティア+36%、パスファインダー+12%
- 新型「ローグ ハイブリッド」搭載のe-POWERが、米ワーズ社「10ベストエンジン＆推進システム」に選出

商品ミックスの改善

- 価格改定と上級グレード比率の増加により売り上げが向上

日本：新型車投入とお客さまからの高い評価

RE:NISSAN

197k
上期累計

+6.3%
前年同期比



需要の拡大

- エルグランドは累計受注１万1,000台*
- キックスは累計受注2万台*

* 2026年10月末現在

商品ミックスの改善

- 上級グレードの需要が増加

市場での評価

- エルグランド: 日本自動車殿堂カーオブザイヤー受賞
- リーフ: 日本自動車殿堂カーデザインオブザイヤー受賞
- エルグランド＆キックス: 日本カー・オブ・ザ・イヤー「10ベストカー」選出

中国：戦略を堅持し、市場の変化に迅速に対応

RE:NISSAN

-22%
上期全需
前年同期比

-15%
上期日産販売台数
前年同期比



全需の縮小

- 7月から10月にかけても縮小が続き、
  日産の販売にも影響

事業の適正化

- ICE車の生産と販売店の在庫を適正化するなど、
  迅速に対応策を実施

NEV戦略の加速

- お客さまのニーズにあわせNEVラインナップを強化

輸出の拡大

- 「フロンティア プロ/ナバラ プロ」
  「N7/プリメーラEV」の輸出を開始

*中国小売販売台数は暦年ベース

着実なコスト改善

RE:NISSAN

1,100 億円

上期の
コスト削減効果

全社的な取り組みを継続し、効率化を推進

固定費
- 費用管理を徹底し、継続して削減効果を創出

変動費
- 施策の実行が進み、下期にはさらなる効果を期待

▼ **3,650 億円**

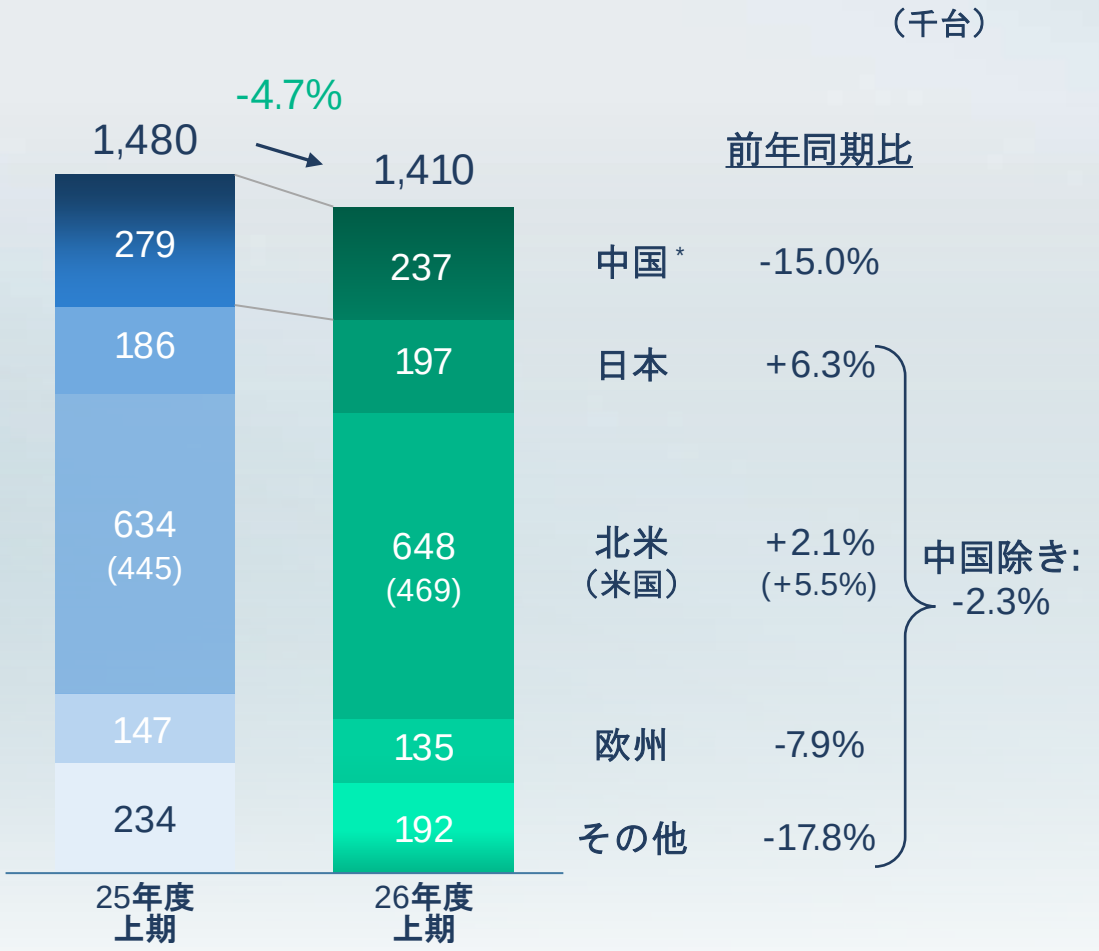
Re:Nissan 開始からの
累計削減効果

上期実績

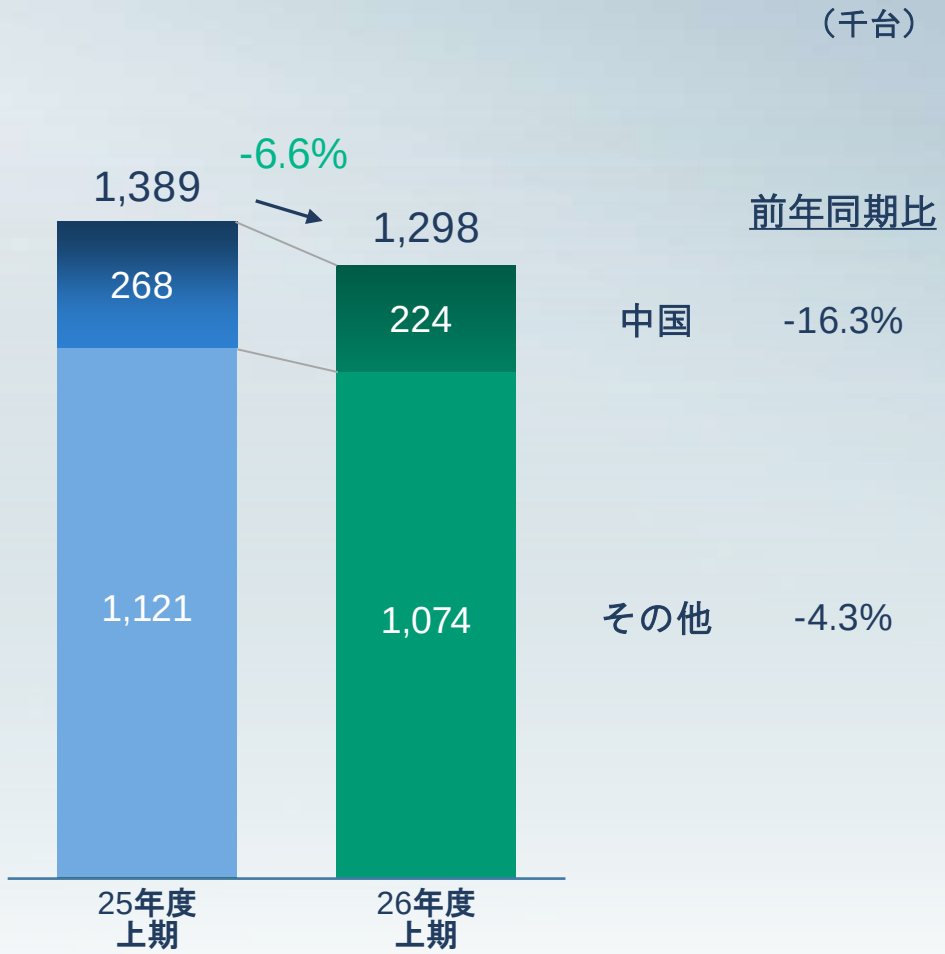


小売販売台数

小売販売台数

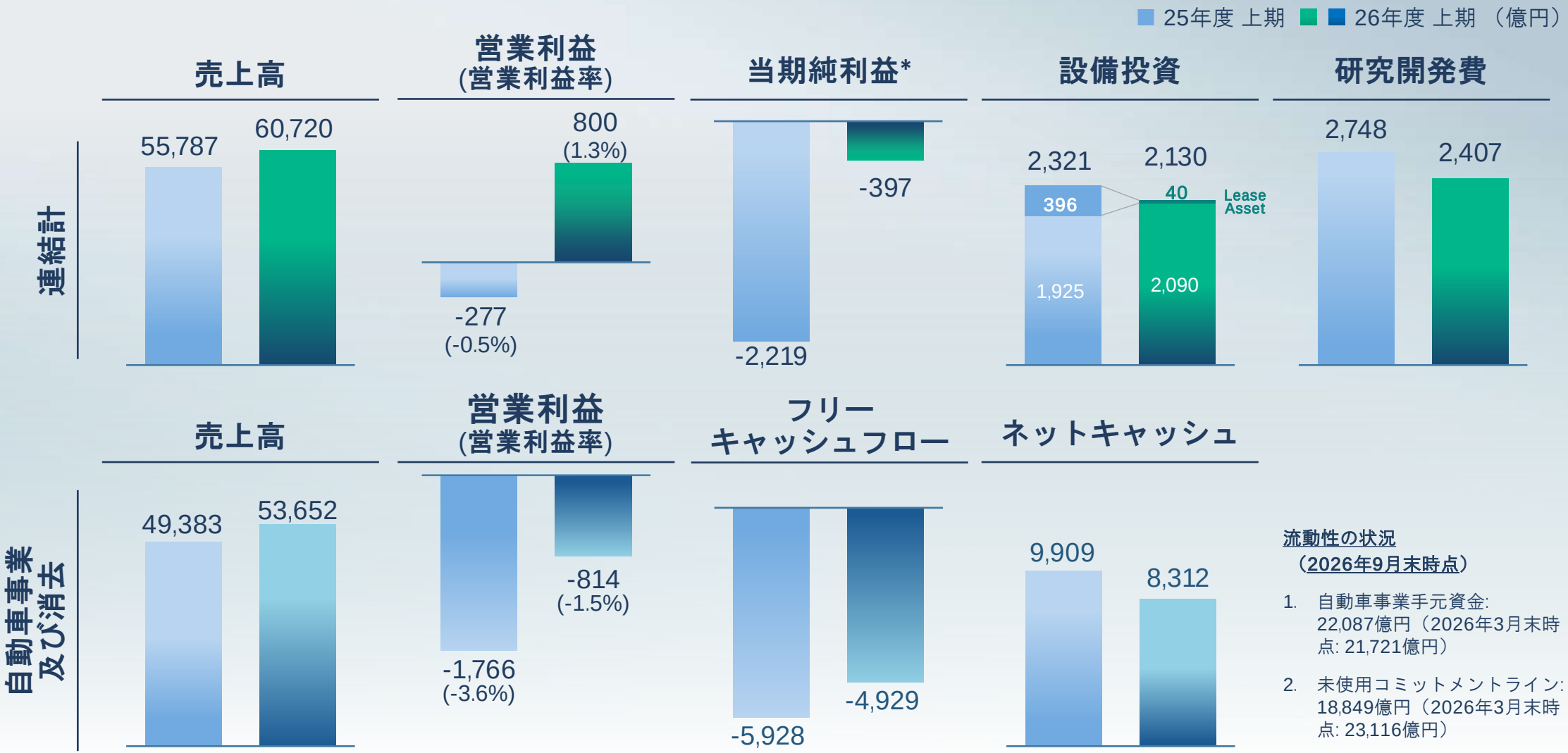


生産台数



* 中国小売販売台数は暦年ベース。 2026年1月－9月累計は313千台、 2025年1月－9月累計は457千台

26年度 上期 財務実績



流動性の状況
（2026年9月末時点）

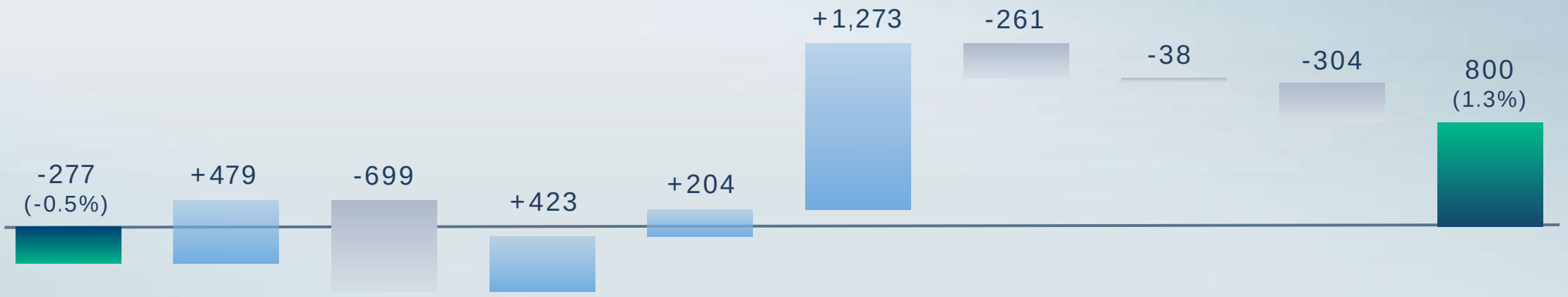
1. 自動車事業手元資金: 22,087億円（2026年3月末時点: 21,721億円）
2. 未使用コミットメントライン: 18,849億円（2026年3月末時点: 23,116億円）

* 親会社株主に帰属する当期純利益

営業利益増減分析

26年度 上期 対前年

（億円）



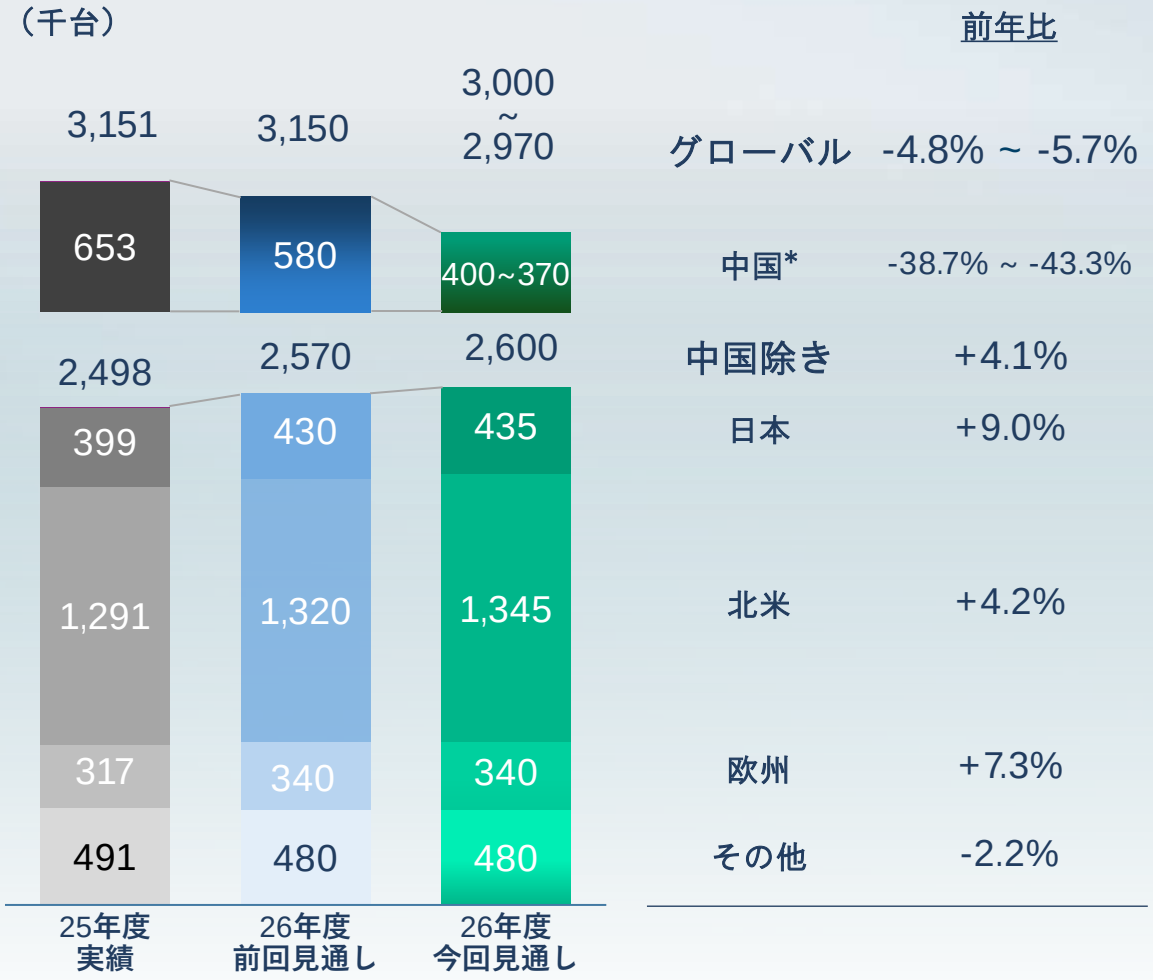
25年度上期	為替	原材料	関税	販売パフォーマンス	モノづくりコスト	ｲﾝﾌﾚｰｼｮﾝ	一過性	その他	26年度上期
				台数/構成 +277	生産費用 +374	モノづくり -173	製品保証引当金見積りの変更 -289	販売金融 -22	
				販売費用/価格改定 +87	物流費 -26	その他 -88	米国関税 +611	-クレジットロス +33	
				ｱﾌﾀｰｾｰﾙｽ -145	規制対応/商品性向上 -49		米国環境規制 -360	-その他 -55	
				その他 -15	研究開発費 +428			ﾘﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ -103	
					車両コストの改善 +599			一般管理費 +39	
					その他 -54			その他 -218	
第2四半期実績	515 (1.8%)	+129	-464	+240	-33	+457	-121	-360	-342	21 (0.1%)

2026年度見通し



2026年度台数見通し

小売販売台数



	前年比
グローバル	-4.8% ~ -5.7%
中国*	-38.7% ~ -43.3%
中国除き	+4.1%
日本	+9.0%
北米	+4.2%
欧州	+7.3%
その他	-2.2%

生産台数



*中国小売販売台数は暦年ベース

2026年度見通し

5月に発表した業績見通しを維持

（億円）

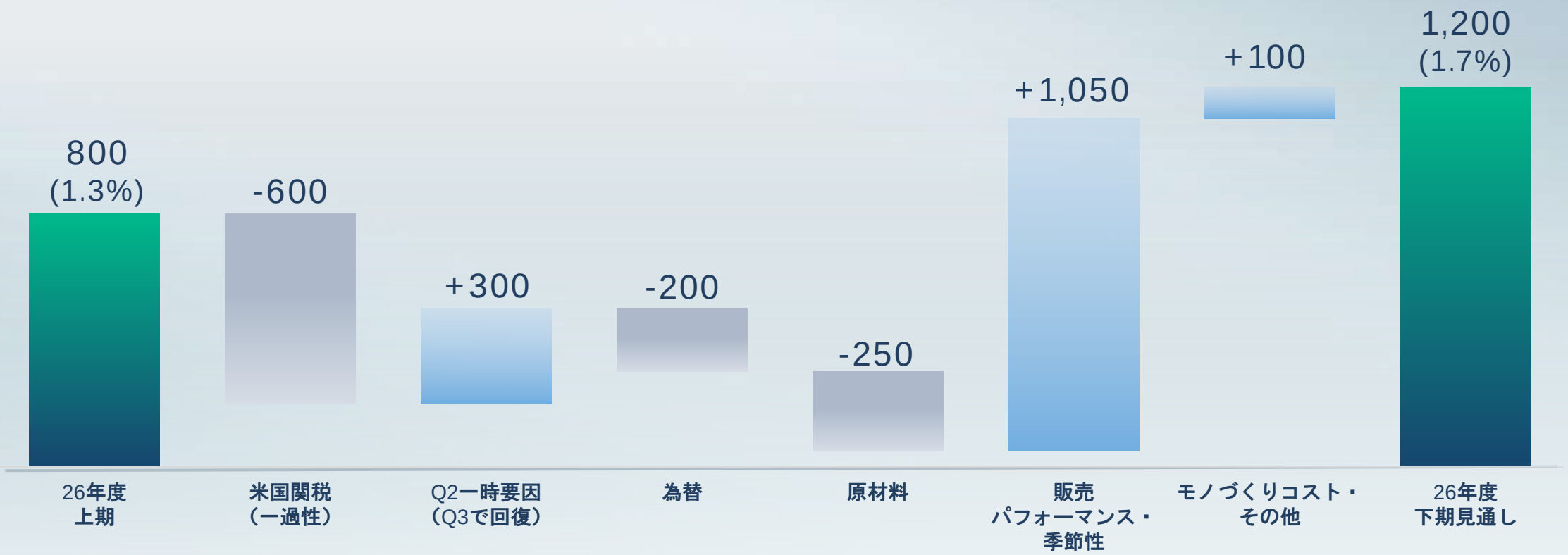
	25年度 実績	26年度 見通し	対前年
売上高	120,079	130,000	+9,921
営業利益	580	2,000	+1,420
営業利益率	0.5%	1.5%	+1.0ポイント
当期純利益*1	-5,331	200	+5,531
為替レート*2 (ドル/円)	151	157	+6
(ユーロ/円)	175	183	+8
一株当たり配当金（円）	0	0	

*1 親会社株主に帰属する当期純利益
*2 為替レートは通期平均値。下期の想定為替レートは155円（ドル/円）、181円（ユーロ/円）。 5月に発表した見通しの推定為替レートは、150円（ドル/円）、175円（ユーロ/円）。

26年度見通し達成に向けて

26年度上期実績 対 26年度下期見通し

（億円）



上期 実績サマリー



販売実績

米国・日本は成長。中国は市場の急激な縮小を背景に厳しい状況が継続

- 米国：小売販売が好調、販売台数は5.5%増
- 日本：新型車が成長を牽引、販売台数は6.3%増
- 中国：全需が22%減と大幅に縮小する中、小売販売は15%減と厳しい状況

財務実績

上期営業利益は改善。
自動車事業の営業利益および当期純利益も回復

- 営業利益は前年に対して1,080億円改善し、800億円に
- Re:Nissanのコスト改善が対前年で1,100億円の改善に貢献
- 自動車事業ネットキャッシュは約8,000億円。自動車事業の現金及び現金同等物は2.2兆円

26年度見通し

Re:Nissan**は順調に進捗。着実な実行を継続**

26年度業績目標を維持

- 営業利益2,000億円。自動車事業の営業利益および自動車事業フリーキャッシュフローは、関税影響前ベースで黒字
- 期末の自動車事業ネットキャッシュは1兆円超
- 当期純利益200億円の黒字
- 販売台数見通しは、主に中国市場の状況を反映して見直し

下期： 各市場での勢いを拡大

RE:NISSAN

第3四半期に発売



ローグ



NX7

輸出開始



フロンティア プロ
ナバラ プロ



N7
プリメーラ EV

今後のラインナップ



パトロール



ピクソ



ジューク



スカイライン
(発表)

米国　日本

勢いを加速。
新型車と小売販売の強化により、
持続的で質の高い成長へ

中国

引き続き迅速に対応。
NEV投入と輸出の拡大

メキシコ　欧州

メキシコでの好調な実績と欧州の
EVラインアップを成長につなげる

販売台数・在庫・コストの管理を徹底し、
収益性の確保とフリーキャッシュフローを改善

新たな事業計画

長期ビジョンを、具体的な戦略とアクションへ

注力する領域

日産ならではの価値を生み出す領域

実現へのアプローチ

競争力を高め、成果につなげる

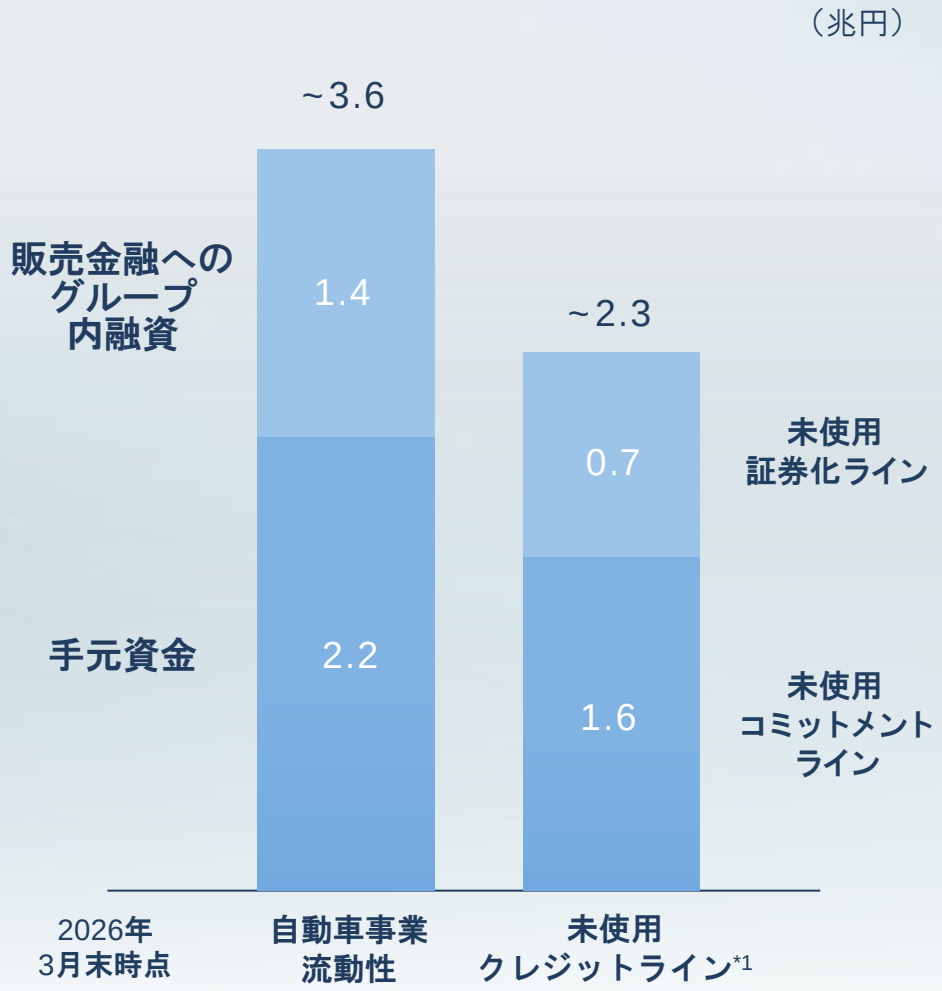
目指す姿

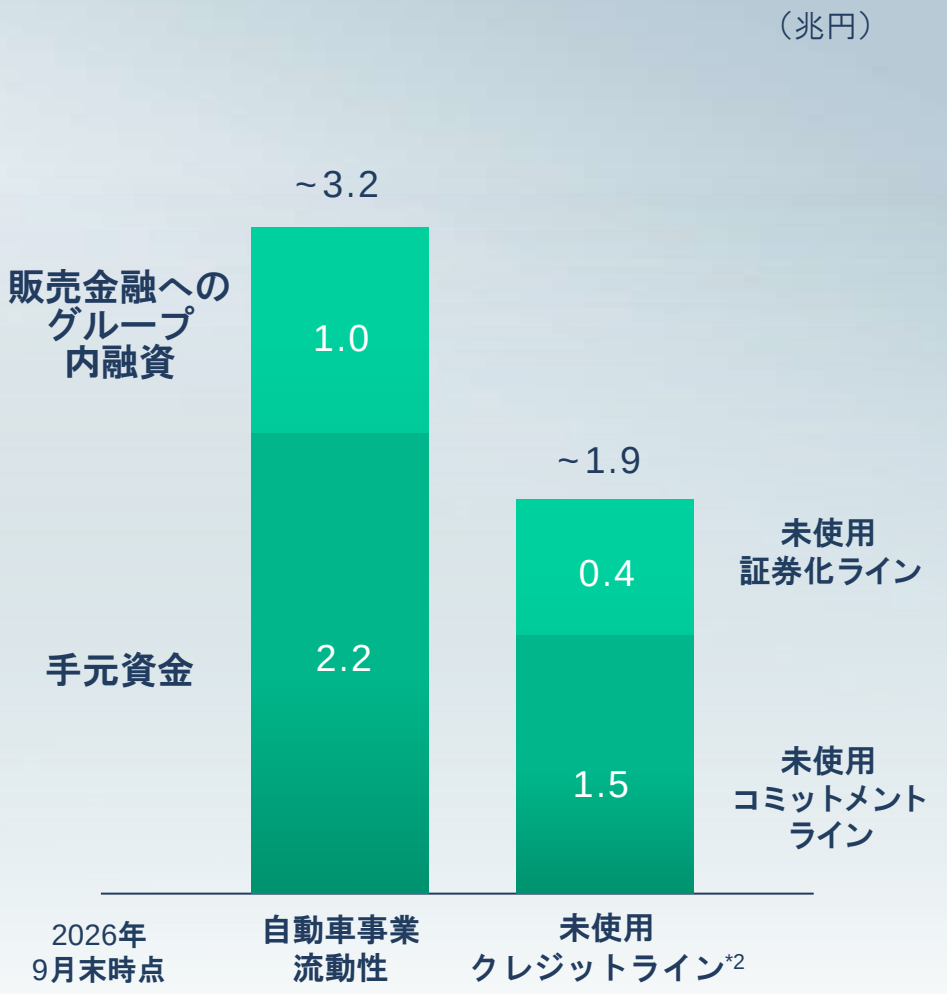
持続的な成長、収益性の向上、キャッシュ創出への道筋

2027年2月発表予定

参考資料

流動性の状況





*1 未使用証券化ラインは販売金融関連、未使用コミットメントラインの内訳は、自動車事業で6,000億円、販売金融で1兆円
*2 未使用証券化ラインは販売金融関連、未使用コミットメントラインの内訳は、自動車事業で6,000億円、販売金融で9,000億円

販売金融

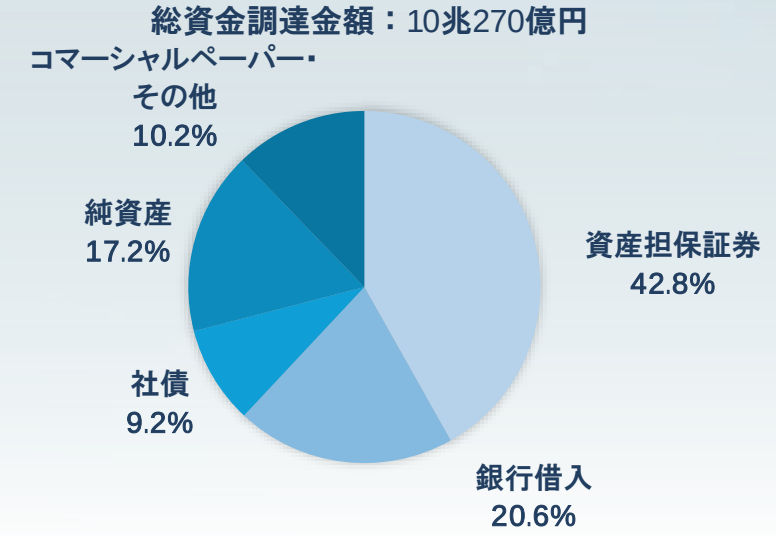
25年度 上期 26年度 上期（億円）



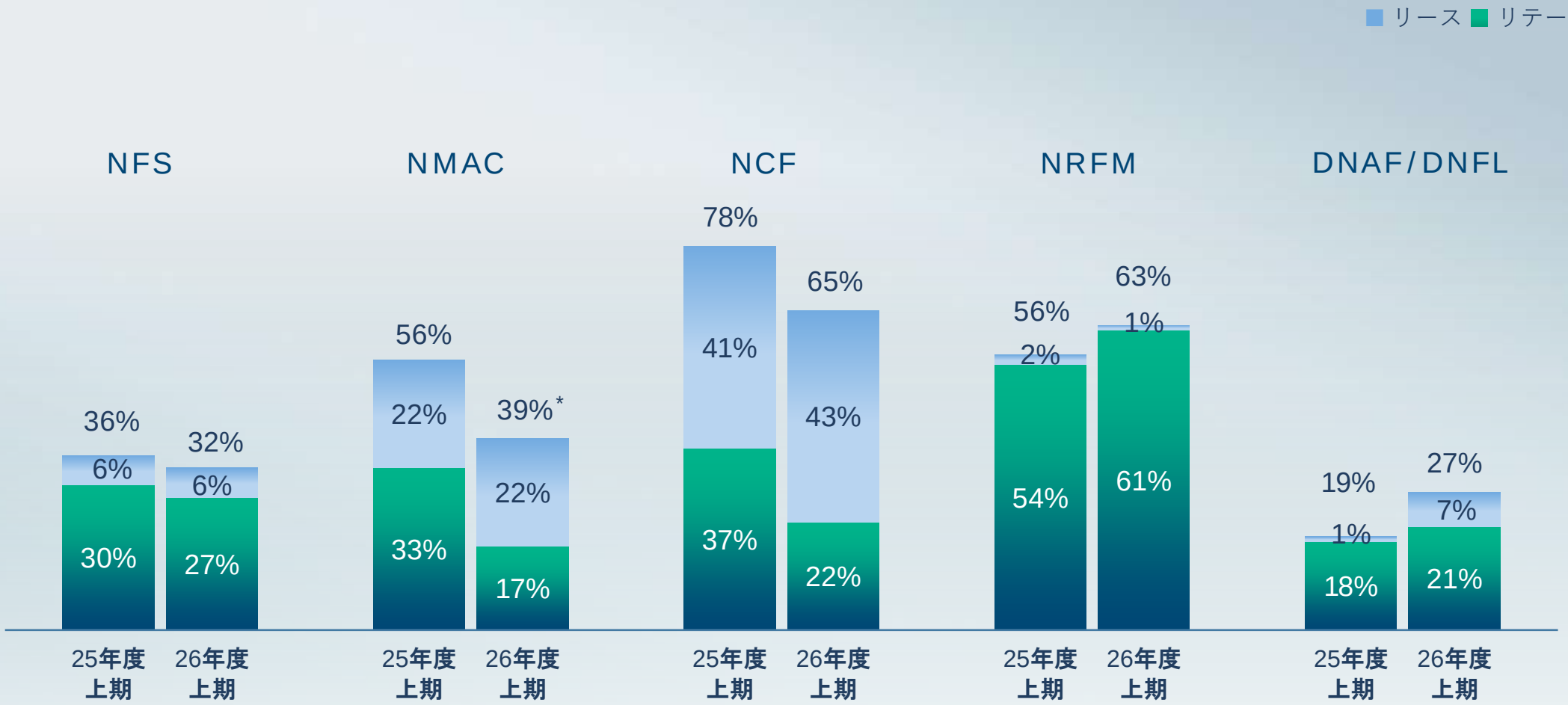
- 営業利益は、為替の影響を受け、前年同期比で増益
- 主に米国において、メキシコからの輸入車向けの販売施策が米国・日本生産車と異なることにより、ペネトレーションは低下
- ネット・クレジットロスは安定的に推移しており、業界平均並みの水準
- 多様な資金調達方法と強固な流動性及び自己資本を維持

資金調達方法（2026年9月末現在）

総資金調達金額：10兆270億円



ペネトレーション



NFS: 日産フィナンシャルサービス（日本）
NMAC: Nissan Motor Acceptance Company LLC（米国）
NCF: Nissan Canada Inc.の販売金融部門（カナダ）

NRFM: NR Finance Mexico （メキシコ）
DNAF: Dongfeng Nissan Auto Finance（中国）
DNFL: Dongfeng Nissan Financial Leasing （中国）

* NMAC：ペネトレーションの低下は、米国・日本生産車と異なる販売施策を採用するメキシコ輸入車の影響によるもの。

ネット・クレジットロスレシオ

	NFS			NMAC			NCF			DNAF/DNFL		
	リース	リテール	合計	リース	リテール	合計	リース	リテール	合計	リース	リテール	合計
25年度上期	0.01%	0.06%	0.05%	0.43%	0.86%	0.70%	0.06%	0.16%	0.10%	3.88%	0.94%	1.57%
26年度上期	0.01%	0.05%	0.05%	0.41%	1.01%	0.76%	0.04%	0.15%	0.09%	1.62%	0.95%	1.15%
増減	0.00pt	-0.01pt	0.00pt	-0.02pt	+0.15pt	+0.06pt	-0.02pt	-0.01pt	-0.01pt	-2.26pt*	+0.01pt	-0.42pt

NFS: 日産フィナンシャルサービス（日本）
NMAC: Nissan Motor Acceptance Company LLC（米国）
NCF: Nissan Canada Inc.の販売金融部門（カナダ）

DNAF: Dongfeng Nissan Auto finance（中国）
DNFL: Dongfeng Nissan Financial Leasing（中国）

* 25年度のDNAF/DNFLのリース・クレジットロスの上昇は、一社のフリートによるもの

営業利益・資産

	NFS（億円）		NMAC（百万ドル）		NCF（百万カナダドル）		NRFM（百万メキシコペソ）		DNAF/DNFL（百万人民元）	
	資産	営業利益	資産	営業利益	資産	営業利益	資産	営業利益	資産	営業利益
25年度上期	14,799	166	41,289	486	8,014	132	131,674	2,836	31,250	403
26年度上期	15,303	164	38,154	521	6,665	94	155,746	2,805	33,284	372
増減	+504	-2	-3,135	+34	-1,349	-38	+24,072	-31	+2,034	-31

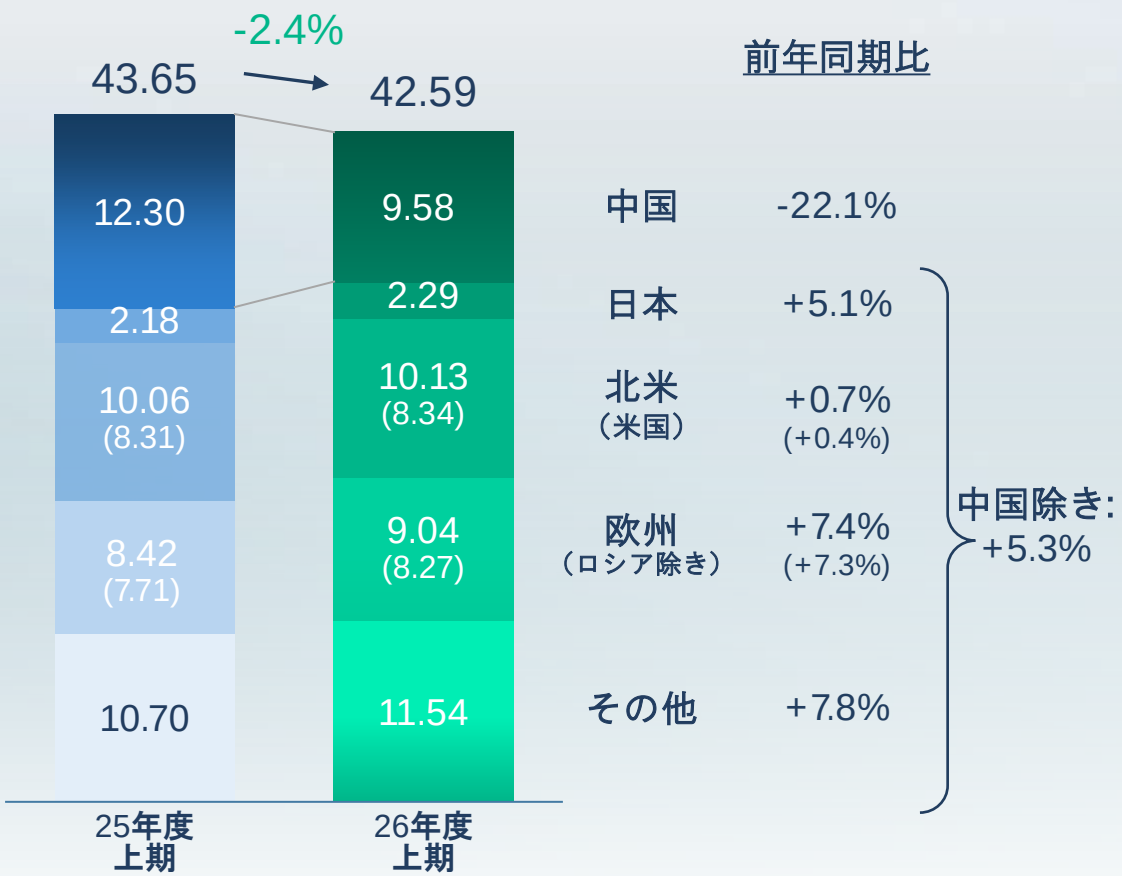
NFS: 日産フィナンシャルサービス（日本）
NMAC: Nissan Motor Acceptance Company LLC（米国）
NCF: Nissan Canada Inc.の販売金融部門（カナダ）

NRFM: NR Finance Mexico（メキシコ）
DNAF: Dongfeng Nissan Auto finance（中国）
DNFL: Dongfeng Nissan Financial Leasing（中国）

26年度 上期 販売実績

全需*1

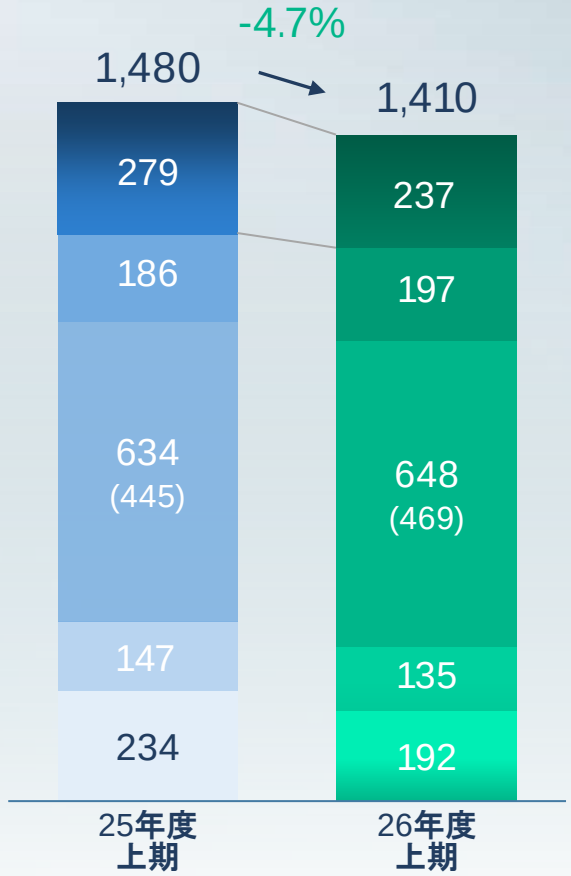
（百万台）



	前年同期比
中国	-22.1%
日本	+5.1%
北米（米国）	+0.7%（+0.4%）
欧州（ロシア除き）	+7.4%（+7.3%）
その他	+7.8%
中国除き:	+5.3%

小売販売台数

（千台）



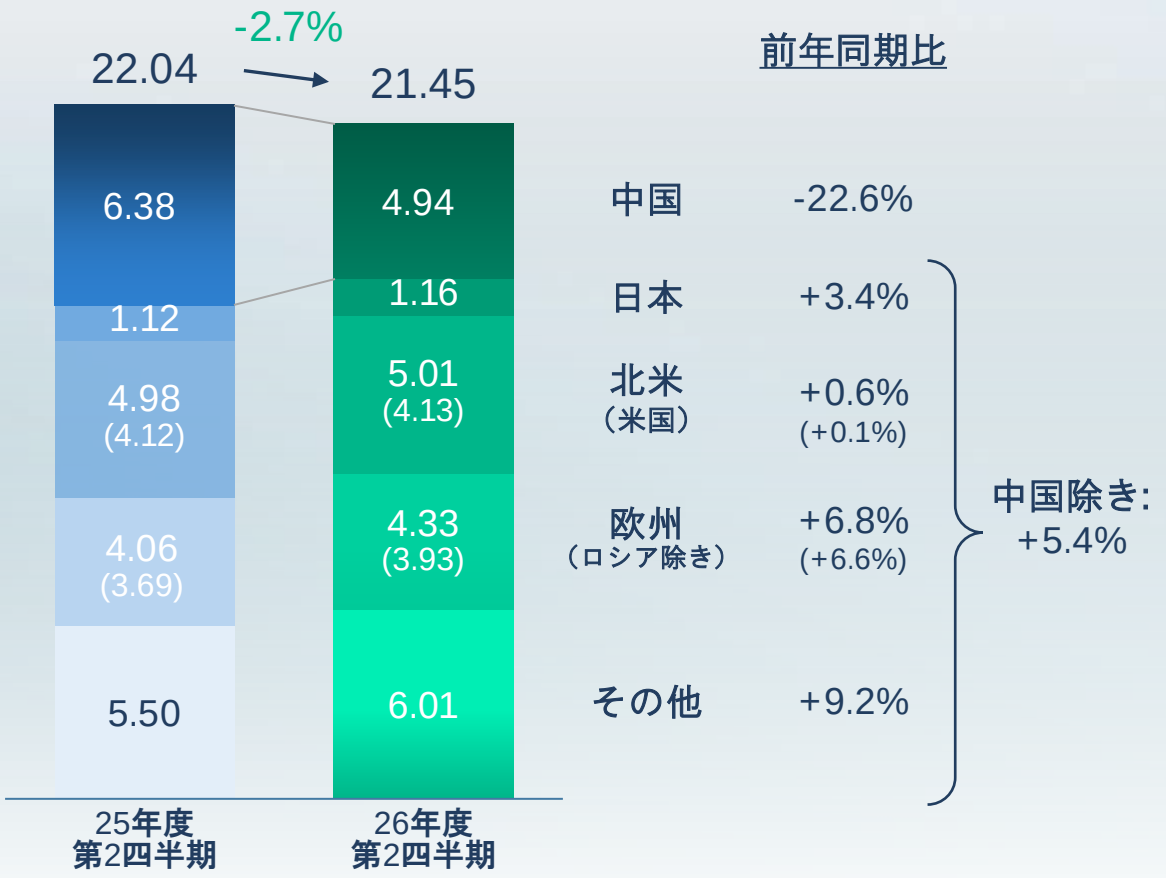
	前年同期比
中国*2	-15.0%
日本	+6.3%
北米（米国）	+2.1%（+5.5%）
欧州（ロシア除き）	-7.9%
その他	-17.8%
中国除き:	-2.3%

*1 全需は日産集計値、中国は現地ブランドとLCVを含む
*2 中国小売販売台数は暦年ベース

26年度 第2四半期 販売実績

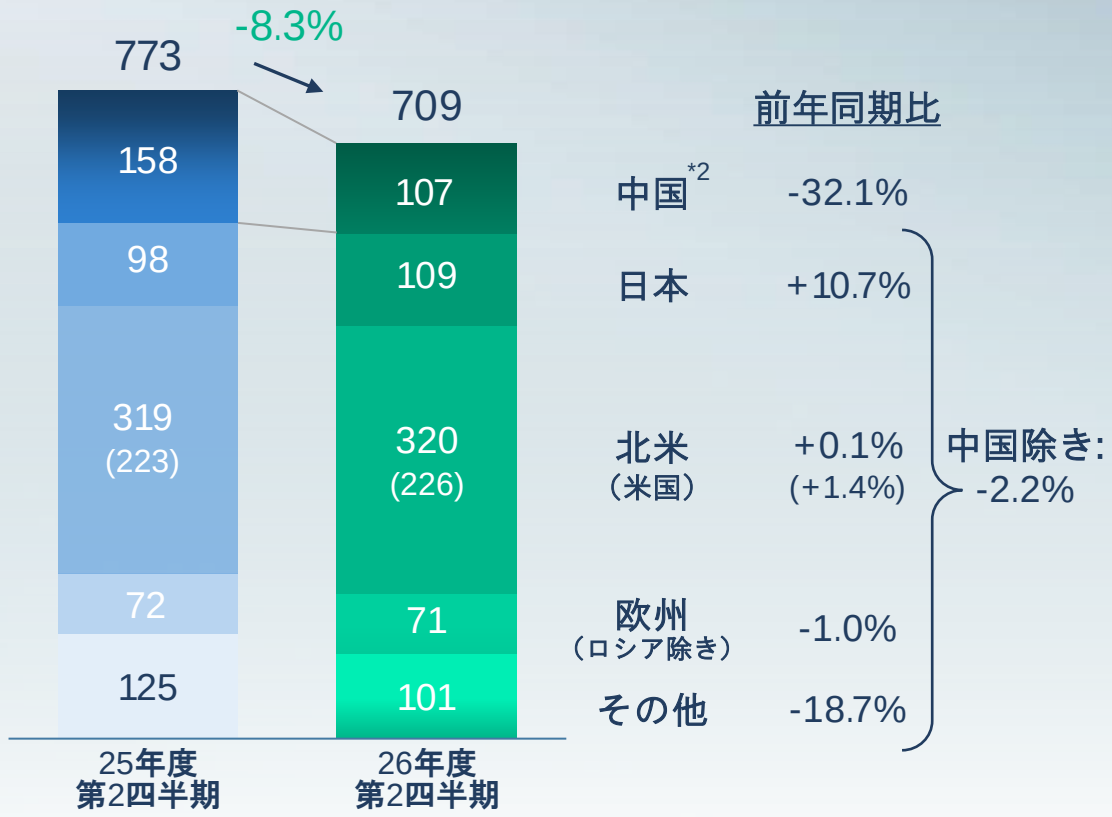
全需[*1]

（百万台）



小売販売台数

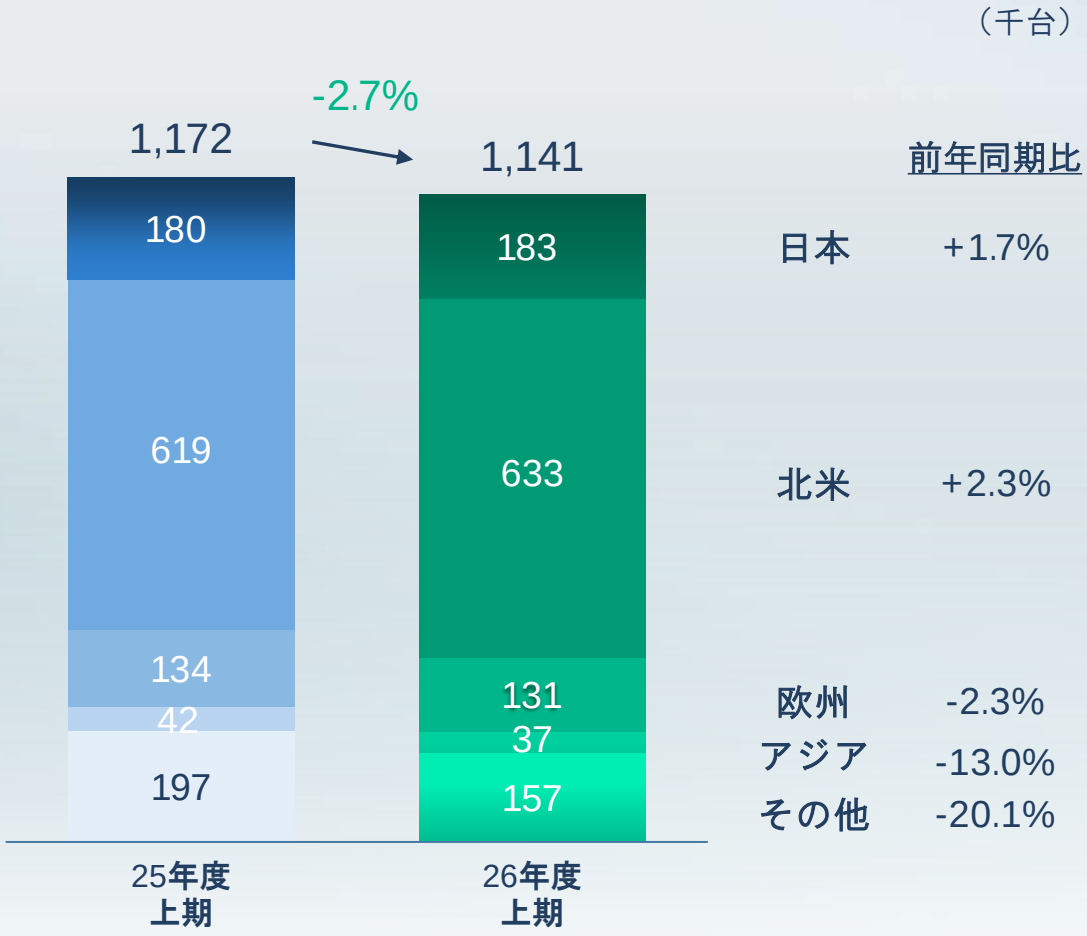
（千台）



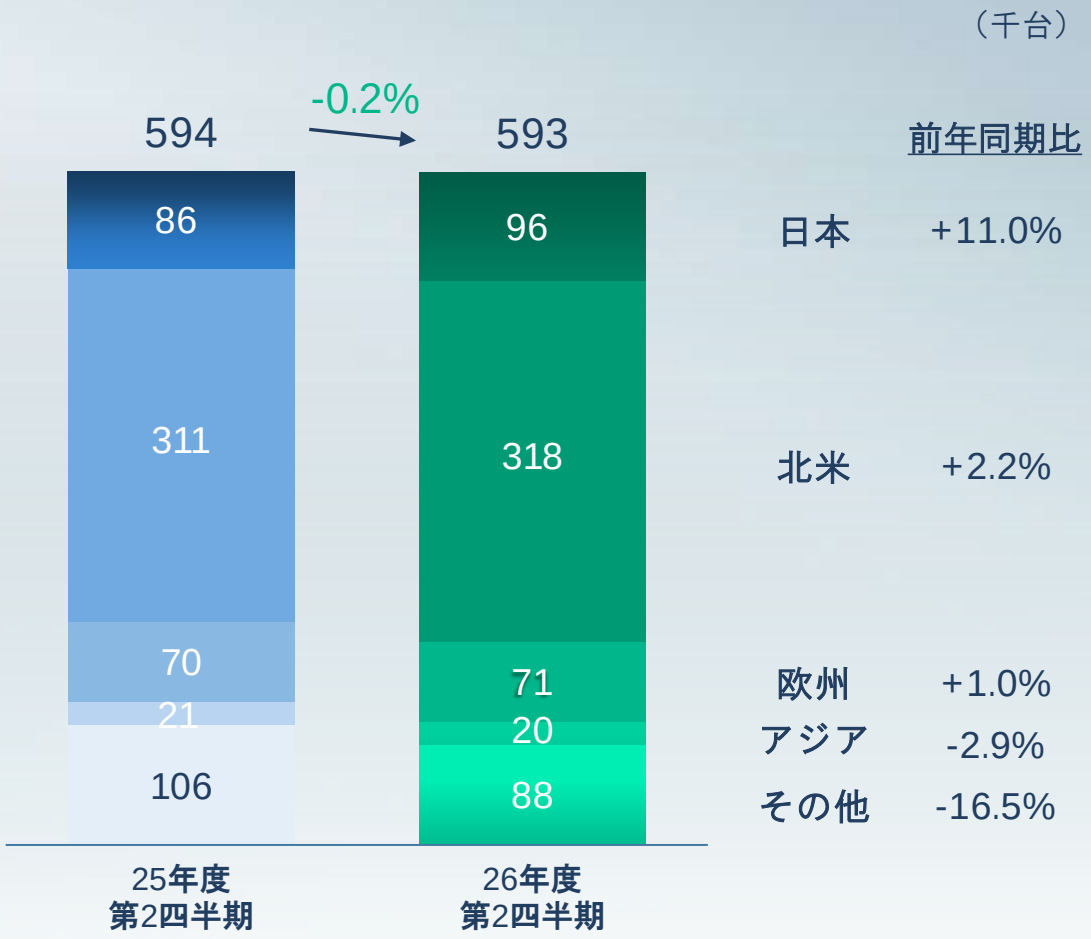
*1 全需は日産集計値、中国は現地ブランドとLCVを含む
*2 中国小売販売台数は暦年ベース

連結販売台数

26年度 上期



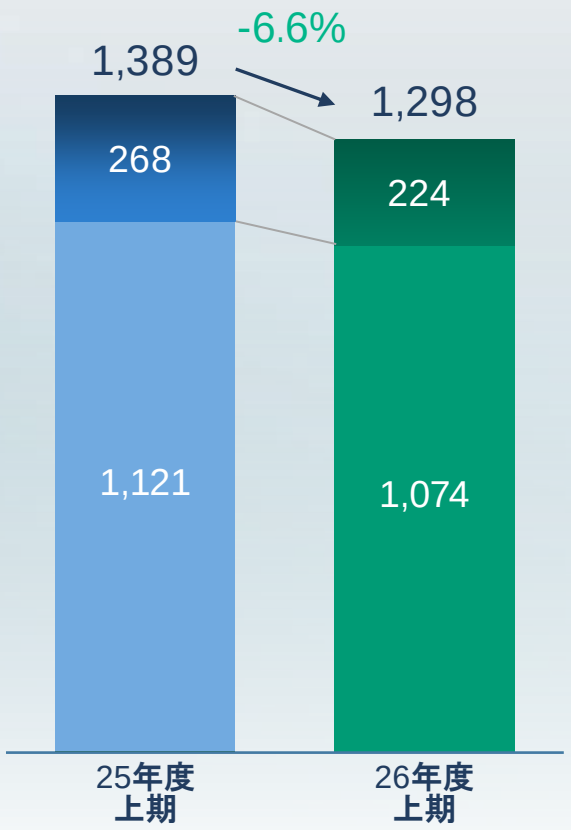
26年度 第2四半期



生産台数

26年度 上期

（千台）

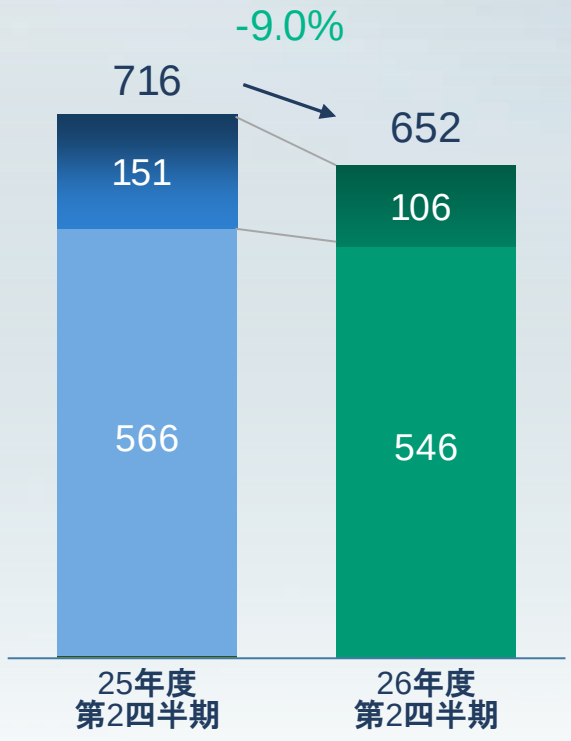


前年同期比

中国	-16.3%
その他	-4.3%

26年度 第2四半期

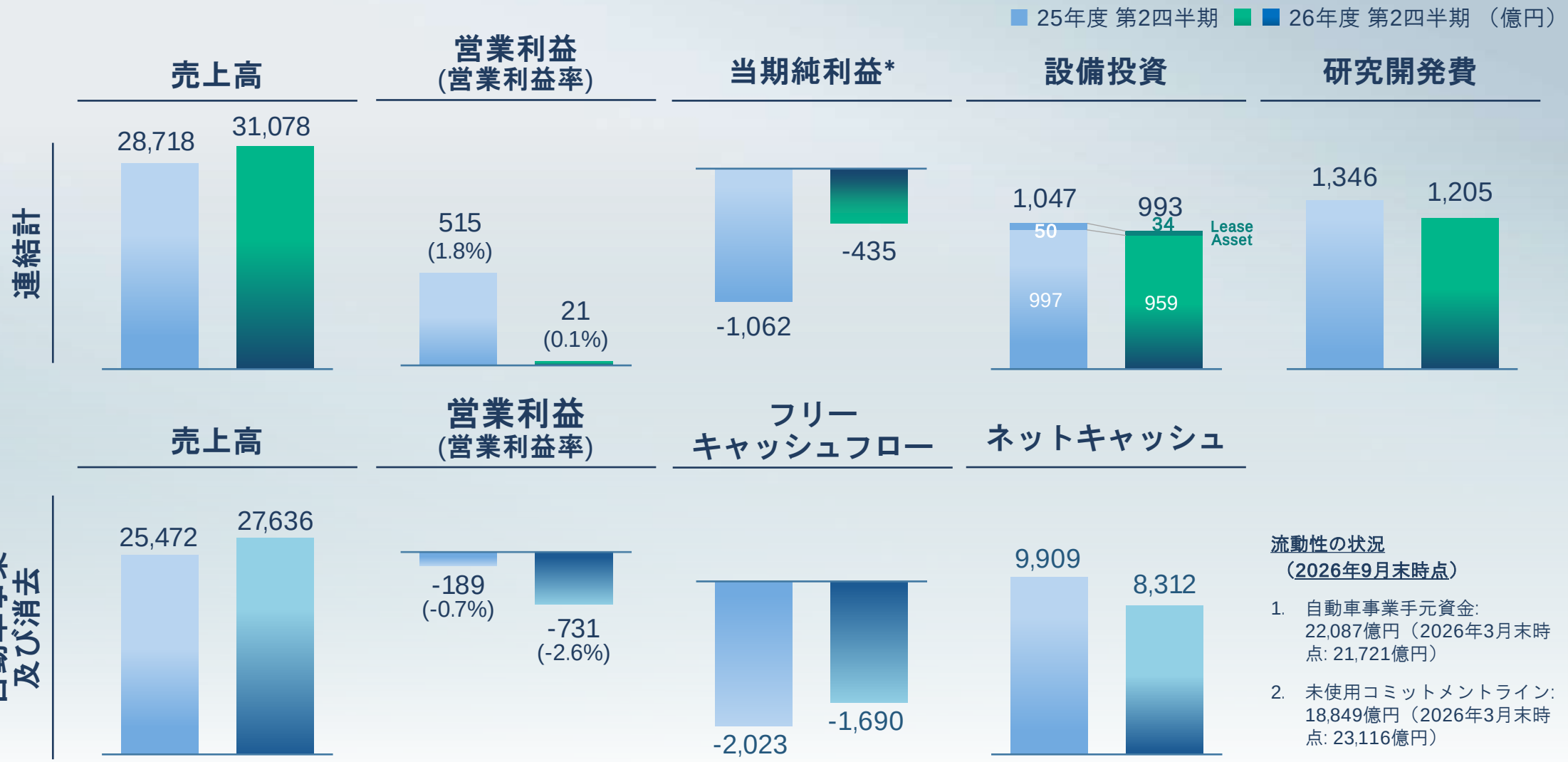
（千台）



前年同期比

中国	-29.6%
その他	-3.5%

26年度 第2四半期 財務実績



流動性の状況
（2026年9月末時点）

1. 自動車事業手元資金: 22,087億円（2026年3月末時点: 21,721億円）
2. 未使用コミットメントライン: 18,849億円（2026年3月末時点: 23,116億円）

* 親会社株主に帰属する当期純利益

営業利益増減分析

26年度 第2四半期 対前年

（億円）



25年度 第2四半期	為替	原材料	関税	販売パフォーマンス		モノづくりコスト		ｲﾝﾌﾚｰｼｮﾝ		一過性		その他		26年度 第2四半期
				台数/構成	+236	生産費用	+172	モノづくり	-76	米国環境規制	-360	販売金融	-14	
				販売費用/価格改定	-196	物流費	-82	その他	-45			-クレジットロス	+32	
				ｱﾌﾀｰｾｰﾙｽ	-70	規制対応/商品性向上	-22					-その他	-45	
				その他	-3	研究開発費	+178					ﾘﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ	-59	
						車両コストの改善	+289					一般管理費	+35	
						その他	-78					その他	-304	

財務実績

（億円）

	25年度 上期	26年度 上期	増減	25年度 第2四半期	26年度 第2四半期	増減
売上高	55,787	60,720	+4,933	28,718	31,078	+2,360
営業利益	-277	800	+1,077	515	21	-494
営業利益率	-0.5%	1.3%	+1.8 ポイント	1.8%	0.1%	-1.7 ポイント
営業外損益*1	-503	-441		-202	-153	
経常利益	-779	360	+1,139	313	-131	-444
特別損益*2	-1,436	-274		-1,247	-191	
税金等調整前当期純利益	-2,215	86	+2,301	-934	-322	+612
税金費用	26	-392		-115	-67	
少数株主利益*3	-30	-91		-13	-46	
当期純利益*4	-2,219	-397	+1,822	-1,062	-435	+627
為替レート（ドル/円）	146	159	+13	147	159	+12
為替レート（ユーロ/円）	168	184	+16	172	183	+11

*1 持分法による投資損益 -95億円（25年度 上期）、+85億円（26年度 上期）を含む　*2 減損損失 -708億円（25年度 上期）、 減損損失 -46億円（26年度 上期）を含む
*3 非支配株主に帰属する当期純利益　*4 親会社株主に帰属する当期純利益

営業利益増減分析 為替

為替	25年度 上期 レート	26年度 上期 レート	営業利益影響（億円）
米ドル	146.0	159.5	865
カナダドル	105.8	114.5	147
豪ドル	94.5	112.8	98
英ポンド	195.9	214.2	48
ブラジルレアル	26.4	31.3	32
トルコリラ	3.7	3.4	-34
タイバーツ	4.5	4.8	-60
ユーロ	168.1	184.4	-87
メキシコペソ	7.7	9.2	-133
中国人民元	20.3	23.5	-385
その他	--	--	-12
合計	--	--	479

為替	25年度 第2四半期 レート	26年度 第2四半期 レート	営業利益影響（億円）
米ドル	147.5	159.4	391
カナダドル	107.1	113.9	46
豪ドル	96.4	112.5	35
英ポンド	198.9	214.3	22
ブラジルレアル	27.1	31.0	13
トルコリラ	3.6	3.3	-19
タイバーツ	4.6	4.8	-23
ユーロ	172.3	183.5	-27
メキシコペソ	7.9	9.2	-44
中国人民元	20.6	23.6	-202
その他	--	--	-63
合計	--	--	129

営業利益増減分析 販売パフォーマンス

（億円）

台数・構成

	26年度 上期				26年度 第2四半期			
	台数[*1]	構成	販売奨励金[*2]	合計	台数[*1]	構成	販売奨励金[*2]	合計
日本	+9	+8	-39	-23	+41	+25	-39	+28
米国	+700	+414	-403	+710	+297	+135	-179	+253
欧州	-48	-101	+69	-80	+11	-53	+6	-35
メキシコ・カナダ	-59	+213	-77	+77	-0	+132	-20	+112
その他	-639	+86	+145	-408	-191	+10	+60	-121
合計	**-38**	**+620**	**-305**	**+277**	**+159**	**+250**	**-172**	**+236**

販売費・価格改定

	販売奨励金[*3]/価格改定	その他	合計	販売奨励金[*3]/価格改定	その他	合計
日本	+35	-23	+12	+17	-27	-9
米国	+119	+124	+243	-120	+64	-56
欧州	-168	+21	-147	-86	+9	-78
メキシコ・カナダ	-106	-24	-129	-72	-14	-87
その他	+92	+16	+108	+29	+5	+34
合計	**-27**	**+114**	**+87**	**-233**	**+36**	**-196**

*1 カントリーミックスを含む　*2 台数・構成による販売奨励金の増減　*3 台当たりの販売奨励金増減の影響

在庫状況（中国合弁会社除く）

（千台）



自動車事業フリーキャッシュフロー

（億円）

26年度	第1四半期	第2四半期	上期
PL項目による現金収支	+748	-903	-155
運転資本	-1,681	-387	-2,069
買掛金・売掛金	-458	+144	-315
在庫	-1,223	-531	-1,754
税金・その他営業活動	-1,742	+13	-1,728
営業活動によるキャッシュフロー	-2,675	-1,278	-3,952
設備投資*	-752	-638	-1,390
その他	+188	+225	+414
自動車事業フリーキャッシュフロー	-3,239	-1,690	-4,929

25年度	第1四半期	第2四半期	上期
自動車事業フリーキャッシュフロー	-3,905	-2,023	-5,928

* ファイナンス・リース関連の投資は含まれない

事業セグメント別 ネットキャッシュ

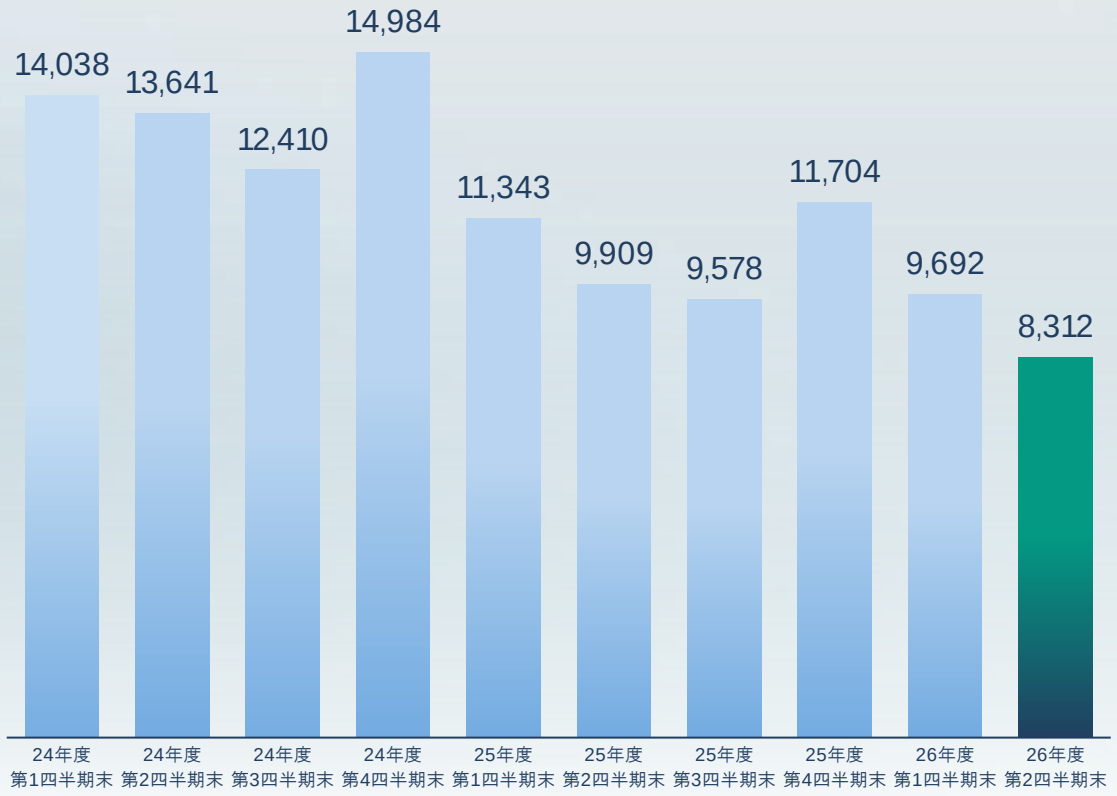
（億円）

	2026年3月31日時点			2026年9月30日時点		
	自動車事業及び消去	販売金融事業	合計	自動車事業及び消去	販売金融事業	合計
第三者借入	23,767	65,434	89,201	23,594	69,338	92,932
販売金融へのグループ内融資（ネット）	-13,750	13,750	0	-9,819	9,819	0
手元資金	21,721	927	22,648	22,087	1,411	23,498
ネットキャッシュ	**11,704**	**-78,257**	**-66,553**	8,312	-77,746	-69,434

自動車事業 ネットキャッシュ及びフリーキャッシュフロー

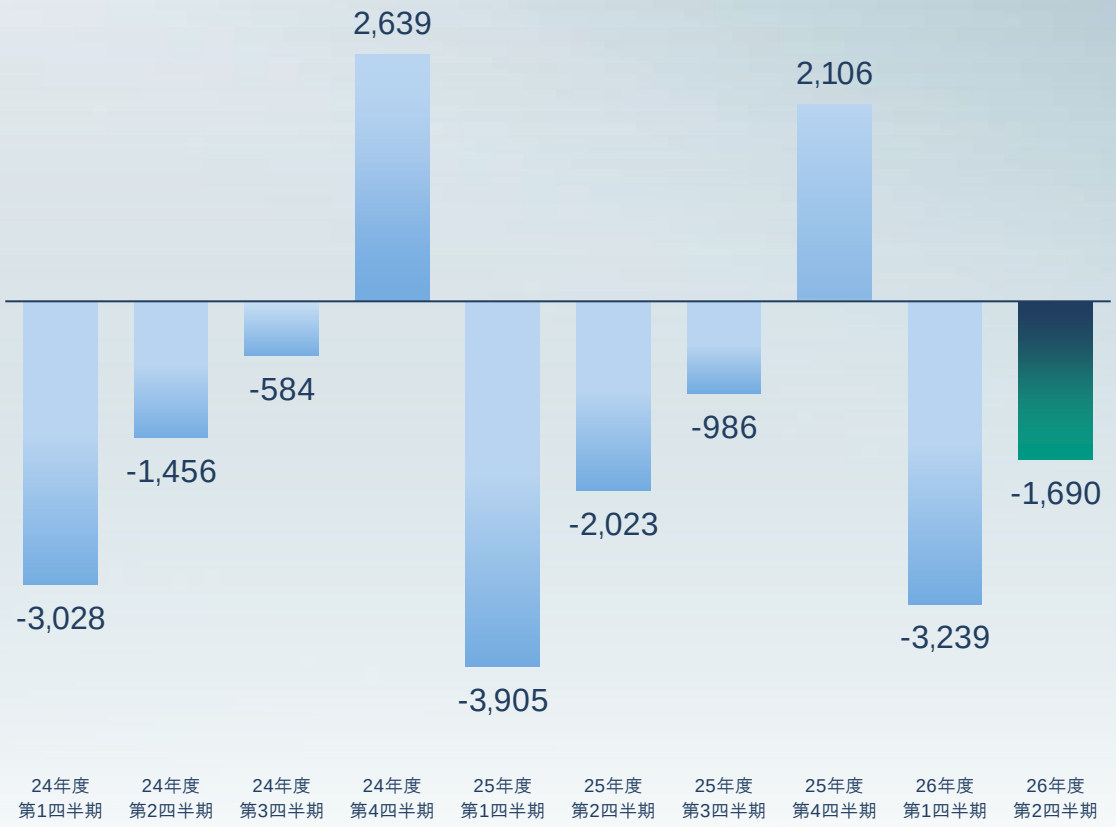
自動車事業ネットキャッシュ

（億円）

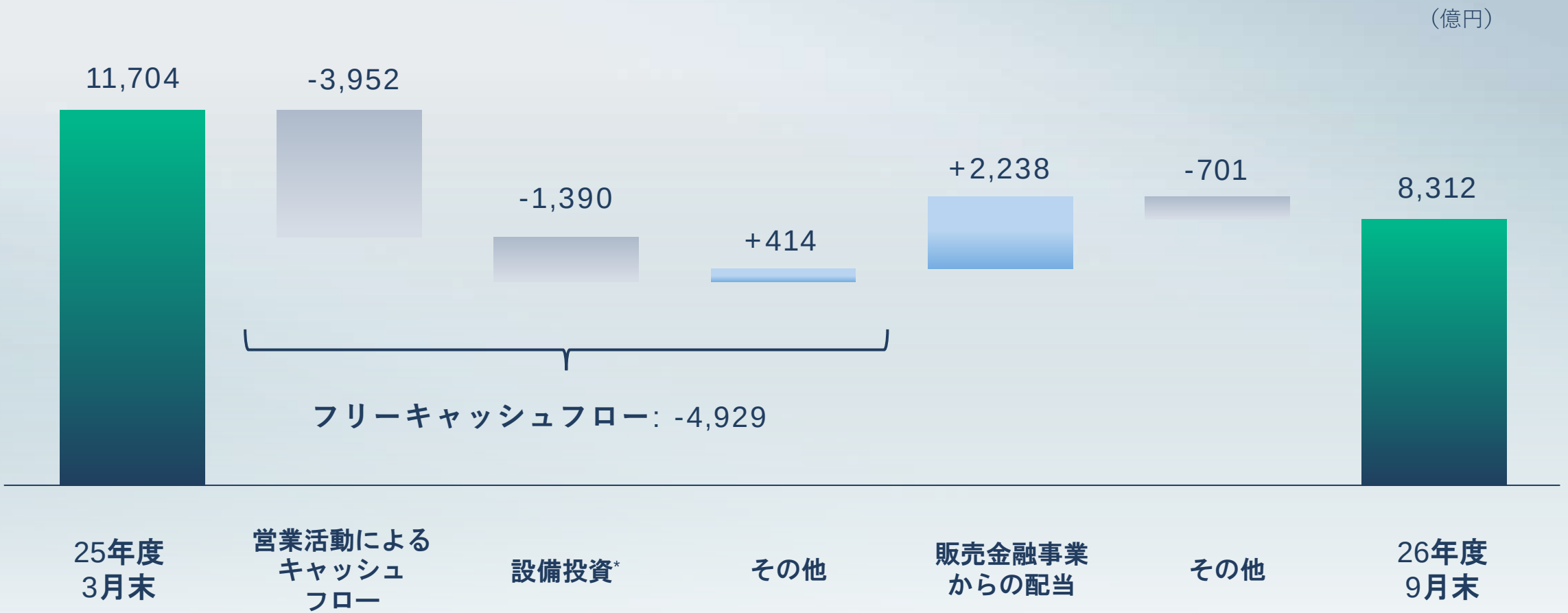


自動車事業フリーキャッシュフロー

（億円）



自動車事業 ネットキャッシュ変動分析



* ファイナンス・リース関連の投資は含まれない

本資料に記載されている将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいており、リスクと不確実性を含んでいます。従いまして、今後の当社グループの事業領域を取り巻く経済情勢、市場の動向、為替の変動等により、実際の業績がこれらの記述と大きく異なる可能性があることをご承知おきください。